

ころばん体操出前講座 日出町公民館

令和4年8月24日(水) 9:00~10:00

参加者 計 14 名 (男性5名・女性9名)

I. 講話 「 知って安心 訪問看護サービス 」

訪問看護ステーションさくら 所長 畑中 勇二

どんな状態の人でも自宅で暮らしたいと思えば家で過ごせる手段があります。国も、医療費や介護費の出費を抑える為に在宅医療の体制づくりをすすめています。訪問看護は、医療や介護が必要になっても自宅で過ごしたい人のご希望に沿って24時間365日必要に応じて駆けつけます。自宅に訪問して健康状態のチェックやリハビリや入浴の介護、認知症の方の精神的な援助、お薬が管理できない人の援助を行っています。ご家族で看取るためのサポートをして、ご家族だけで見守りながら亡くられるケースが多いです。癌の患者さんは最後まで痛みを訴えるイメージがありますが、薬も開発されて痛みをかなり緩和して自宅で過ごすことが楽になっています。在宅医療は病気と闘うのではなく病気のその人に寄り添い、見守る医療です。訪問看護は、～安心、お守り、訪問看護～と覚えてください。自宅という特別個室にいて必要な時に看護師さんが駆けつけるというイメージで訪問看護を知っていただきたいと思います。



【参加者の声】

病気になってもお家で暮らしていたいですか・？「はい」ほぼ全員が挙手されました。最期までお家で、亡くなる時もお家がいい・全員が挙手されました。「入院するよりお金の負担はかからないと言われたが、実際医者への訪問診療や往診を受けてもそうなりますか・・・」勉強になりました。ありがとう
訪問看護のサービス等初めて聞いて勉強になりました。参考にしたいと思います。
訪問看護は地域どこでもあるのでしょうか・・・

訪問看護や看取りの講話に一つ一つ肯きながら熱心に聞いていただきました。最期の時の医療行為、点滴等について質問があったり、興味深く聴いていただき、有意義な時間を過ごさせていただきました。